

南アメリカ・オセアニア
州

名前

- 問1 世界のとうもろこしの用途別需要の変化をまとめた統計において、1990年代末にはほとんど存在しなかった「特定の用途」への需要が、2010年代半ばには年間1億3000万トンを超える規模まで急増しています。この需要の変化が起きた背景と、その用途の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)

1. 発展途上国の人口増加を背景に、家畜の飼料用ではなく直接的な食用としての利用が増えた。

2. 石油資源の枯渇を背景に、石油製品に代わるプラスチック原料としての利用が増えた。

3. 化学肥料による土壌汚染を背景に、環境に優しい有機肥料の原料としての利用が増えた。

4. 地球温暖化対策や石油価格の変動を背景に、自動車の代替燃料であるバイオ燃料としての利用が増えた。
- 問2 南アメリカのアンデス山脈に見られる、標高が高い地域特有の気候について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。なお、この地域の都市の統計では、赤道付近に位置しながらも、標高の影響により年間を通して平均気温が10度から15度前後で安定しており、夏に降水量が多く冬に少ないという特徴が見られます。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)

1. 地中海性気候と呼ばれ、夏は乾燥し冬に雨が多いため、オリーブやぶどうの栽培が盛んに行われている。

2. 砂漠気候と呼ばれ、年間降水量が極めて少ないため、ラクダを飼育しながらオアシスの周りで生活している。

3. 熱帯雨林気候と呼ばれ、一年中高湿多湿であるため、丸太を組み合わせた高床式の住居が作られている。

4. 高山気候と呼ばれ、低地よりも気温が低いため、寒さに強いアルパカなどの家畜が飼育されている。
- 問3 南アメリカのチリにおいて、1993年の輸出統計では総額の37.7%を占めていたものの、2017年には50.5%にまでシェアが拡大し、現在では輸出全体の約半分を占めている主要な鉱産資源を選びなさい。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 石炭

2. 銅

3. 原油

4. 鉄鉱石
- 問4 オーストラリアの自然環境について述べた次の説明のうち、国土の75.1パーセントという圧倒的な面積を占める気候帯の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)

1. 夏の期間が非常に短く、地下には一年中凍ったままの永久凍土が広がっている。

2. 四季の変化が明確で、一年を通して一定の降水量があり、農業や居住に適している。

3. 一年を通して気温が高く、降水量の多い雨季と少ない乾季がはっきり分かれている。

4. 一年を通して降水量が極めて少なく、樹木の生育が困難である。
- 問5 オーストラリアは1980年代以降、地理的に近いアジア太平洋地域の一員としての立場を強調するようになりました。その一環として、1989年に日本とともに提唱して設立された、太平洋を囲む国や地域が経済的に協力し、自由な貿易を促進することを目的とした組織を選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

1. APEC（アジア太平洋経済協力）

2. EU（欧州連合）

3. ASEAN（東南アジア諸国連合）

4. UNCTAD（国連貿易開発会議）
- 問6 オセアニアの諸国には、ヨーロッパ諸国による植民地支配の前から独自の生活を送っていた人々がいます。ニュージーランドの先住民族であるマオリに対し、オーストラリアにおいて独自の文化を築いてきた先住民の名称を選びなさい。 (2026年 奈良県公立入試 類似)

1. インディアン

2. アボリジニ

3. サーミ

4. イヌイット
- 問7 地球温暖化にともなう海面上昇のメカニズムと、その影響に関する説明として正しいものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)

1. 過度な地下水のくみ上げにより地盤が下がり、相対的に海面が上がる

2. オゾン層の破壊により直接海面が加熱され、海水の密度が高まる

3. 熱帯林での森林破壊が進むことで、海水の蒸発量が増えて海面が上がる

4. 海水の膨張や氷河の融解により海面が上がり、低地の水没を招く
- 問8 南アメリカ州の大部分の国々において、現在最も多くの人々に信仰されている宗教は何ですか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

1. イスラム教

2. キリスト教

3. ヒンドゥー教

4. 仏教
- 問9 サトウキビなどの植物を原料とする「バイオ燃料」について、2008年の生産量（81万kL）を100とした指数でその後の推移をみると、2010年は105万kL、2012年は110万kL、2014年には131万kLとなりました。これらの統計から読み取れるバイオ燃料の生産状況の説明として、最も適切なものを選択してください。 (2019年 山口県公立入試 類似)

1. 2010年に生産のピークを迎えた後、2014年にかけては生産量が急激に落ち込んでいる。

2. 2014年の生産量は2008年と比較して約1.6倍に増加しており、生産の拡大が続いている。

3. 2014年の生産量は2008年と比較して約1.1倍の微増にとどまり、生産は停滞している。

4. 2008年から2014年にかけて生産量は一貫して減少しており、指数も100を下回っている。
- 問10 南アメリカ大陸のアマゾン川流域に位置する地点の統計において、年平均気温が27.5度と極めて高く、降水量が最も多い月には400mmを超え、年間を通じて非常に多い降水量を示す気候帯を何というか、名称として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 奈良県公立入試 類似)

1. 一年中気温が高く降水量が多い熱帯

2. 降水量が極めて少なく乾燥している乾燥帯

3. 季節による気温の変化がはっきりしている温帯

4. 夏が短く冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯）
- 問11 オーストラリアにおいて、20世紀後半まで続けられていた歴史的な政策について説明します。当時、ヨーロッパ系以外の移民の受け入れを厳しく制限し、白人を中心とした社会を維持しようとしていたこの政策を何といいますか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. 多文化主義

2. 白豪主義

3. アパルトヘイト

4. 同化政策
- 問12 オーストラリアにおいて、18世紀後半からイギリスによる植民地化が進められる以前から、その土地で独自の文化を築いて生活してきた先住民を何と呼びますか。 (2026年 京都府公立入試 類似)

1. ヒスパニック

2. イヌイット

3. アボリジニ

4. マオリ
- 問13 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈周辺の地域では、酸素が薄く寒暖差の激しい高地という環境に適応した生活が見られます。この地域において、古くから食料として栽培されている作物と、毛が衣服の原料や荷物の運搬に利用されている家畜の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

1. ジャガイモとリヤマ

2. とうもろこしとトナカイ

3. 小麦と羊

4. 稲と牛

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地球温暖化対策や石油価格の変動を背景に、自動車の代替燃料であるバイオ燃料としての利用が増えた。	2000年代以降、二酸化炭素の排出抑制や原油価格の高騰を受け、石油の代替エネルギーとしてバイオ燃料の需要が世界的に急拡大しました。ブラジルやアメリカなどの農業大国において、とうもろこしやさとうきびを燃料用に加工する仕組みが整ったことで、統計上の需要が急増することとなりました。選択肢にあるプラスチック原料や肥料への転換は、この急増の主な要因ではありません。
問2	答え 4 高山気候と呼ばれ、低地よりも気温が低いため、寒さに強いアルパカなどの家畜が飼育されている。	アンデス山脈のような標高の高い地域では、緯度が低くても標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高山気候が分布します。この気候下では樹木が育ちにくく、寒冷な環境に適応したアルパカなどの家畜が飼育されています。選択肢にある「丸太を組み合わせた住居」や「ラクダ」は、この地域の伝統的な生活様式とは異なります。
問3	答え 2 銅	チリは世界最大の銅の産出・輸出国として知られています。統計を見ると、1993年から2017年にかけて輸出総額に占める銅の割合は37.7%から50.5%へと大きく上昇しており、この国にとって極めて重要な外貨獲得源であることがわかります。こうした特定の資源や農産物の輸出に頼る経済構造は、国際価格の変動による影響を受けやすいという特徴があります。
問4	答え 4 一年を通して降水量が極めて少なく、樹木の生育が困難である。	オーストラリアは世界で最も平坦な大陸の一つであり、内陸部には湿った空気が入り込みにくいため、広大な乾燥帯が形成されています。この地域では降水量が蒸発量よりも少なくなるため、樹木が育つことができず、乾燥に強い草がわずかに生えるか、砂漠が広がる景観となります。
問5	答え 1 APEC（アジア太平洋経済協力）	オーストラリアはイギリスなど旧宗主国があるヨーロッパとの結びつきが強かったものの、輸出市場としての重要性が高まったアジア諸国との関係を深めるため、アジア太平洋地域の緩やかな経済協力枠組みであるAPECの創設を主導しました。ASEANは東南アジアの10カ国で構成される組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 2 アボリジニ	オセアニア地域では、国によって異なる先住民が暮らしています。オーストラリアではアボリジニが、隣国のニュージーランドではポリネシア系の人々を祖先とするマオリが、それぞれの伝統文化を継承し、権利の回復を目指して活動しています。
問7	答え 4 海水の膨張や氷河の融解により海面が上がり、低地の水没を招く	地球温暖化は、単に氷が溶けるだけでなく、温度上昇による海水の体積膨張を招き、これが海面を押し上げる直接的な要因となります。地下水のくみ上げは「地盤沈下」の原因であり、森林破壊は温暖化を加速させる背景要因の一つですが、海面が上がる物理的な仕組みとは異なります。
問8	答え 2 キリスト教	南アメリカ州では、16世紀以降のヨーロッパ諸国による影響から、現在でもキリスト教が最も多くの人々に信仰されています。
問9	答え 2 2014年の生産量は2008年と比較して約1.6倍に増加しており、生産の拡大が続いている。	2008年の生産量81万kLを基準（100）とした場合、2014年の生産量131万kLを指数に換算すると、 $131 \div 81 \times 100 = \text{約}162$ となります。これは基準年から約6割増加したことを示しており、数値および指数の推移から、バイオ燃料の生産量は継続的に増加していることがわかります。
問10	答え 1 一年中気温が高く降水量が多い熱帯	赤道周辺の低緯度地域に位置するアマゾン川流域は、一年中太陽の光を強く受けるため気温が高く、上昇気流が発生しやすいことから多量の雨が降ります。雨温図において、月平均気温が常に18度を上回り、なおかつ年間を通して降水量が豊富であるという特徴は、熱帯特有のものです。
問11	答え 2 白豪主義	19世紀末から20世紀にかけて、オーストラリアではアジア系などの非ヨーロッパ系移民の流入を制限し、白人の権利や生活水準を守ろうとする政策がとられていました。これを「白豪主義（ホワイト・オーストラリア・ポリシー）」と呼びます。1970年代に入ると、経済発展のための労働力確保や近隣のアジア諸国との関係を重視する観点からこの政策は廃止され、現在は多様な民族の文化を尊重する社会へと転換しています。
問12	答え 3 アボリジニ	オーストラリアはかつてイギリスの植民地とされ、一時は白人以外の移民を制限する白豪主義がとられていました。しかし、現在は多文化社会へと転換しており、植民地化以前から居住していた先住民であるアボリジニの独自の文化や権利を尊重する政策が進められています。なお、マオリはニュージーランドの先住民を指します。
問13	答え 1 じゃがいもとリヤマ	アンデス山脈の高地では、冷涼な気候や厳しい自然環境でも育つじゃがいもが古くから主食として栽培されてきました。また、標高の高い環境に適応した家畜であるリヤマやアルパカは、寒さから身を守るための衣類の原料となる毛を提供するほか、山道での荷物の運搬手段としても重要な役割を果たし、人々の生活を支えています。